

石原産業環境専門委員会 分科会について

これまでに開催された分科会

	専門委員	他の出席者	内容
5月20日	姜 委員	工場長、工場 幹部、事務局	企業価値向上、環境リ スク評価について
7月24日	上砂委員	事務局、 調査会社	有機合成工場 北西域 調査・修復
9月2日	上砂委員	事務局、 調査会社	同上

5月20日の分科会内容は、第8回専門委員会(7月7日)にて報告済み

分科会報告

・7月24日(金) 10:00~17:00 四日市工場

・9月 2日(水) 13:00~17:00 四日市工場

内容

1. 有機合成工場汚染対策 トレンチ、ウェルポイントについて
トレンチ設置場所確認、仕様確認
ウェルポイント設置場所確認、仕様確認
2. 北西域 追加調査について
地質観察、確認
追加調査ボーリングポイントの確認

分科会開催要領 (案)

分科会開催を発議
(専門委員、安全管理・調査担当会社、石原産業)

環境専門委員会事務局 (受付)

環境専門委員会委員長 (認可)

担当専門委員 (出席受諾)

分科会開催

環境専門委員会にて報告



分科会内容（案）

- リスクコミュニケーション
- 調査、修復
- 法的対応
- 地下水流向

その他 必要に応じ実施

石原産業環境専門委員会 土壌地下水汚染修復対策立案スキーム(提案)

土壌地下水汚染修復対策

修復対策についても環境専門委員会の指導助言のもと作業を進める

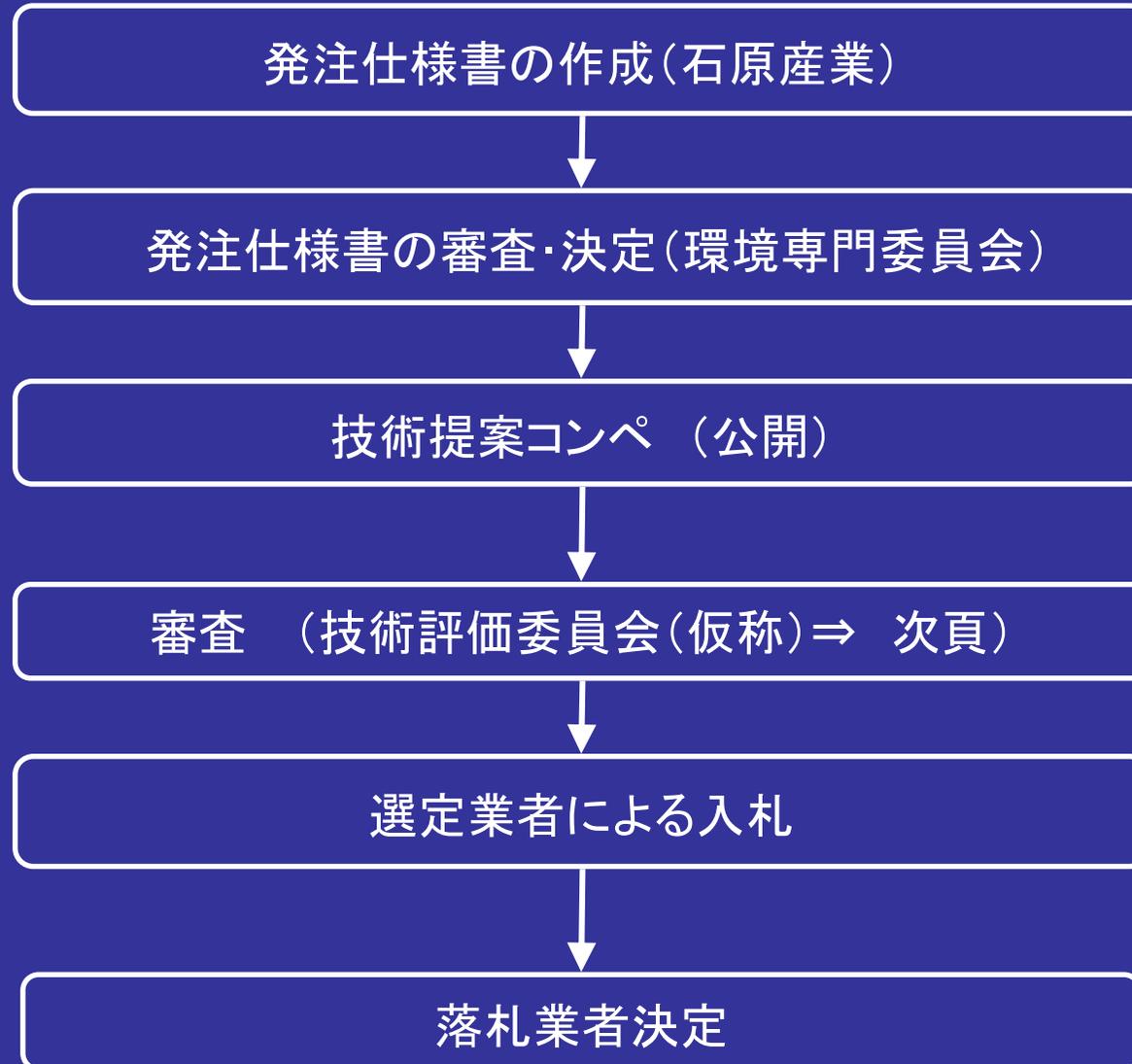
施工業者・工法

仕様書を公開して公募し、選定

選定方法

環境専門委員とISK役員クラスとで構成する会議で選定

処理スキーム (案)



技術評価委員会(仮称)

構成

委員長

環境専門委員長

委員

環境専門委員(3名) + ISK役員クラス(3~4名)

参考 面談社リスト (H21年10月現在)

	社名等	紹介を受けた技術及びその概要	現在までの状況、および今後の予定
1	A	汚染土壌の処理	<ul style="list-style-type: none"> 汚染土処分についてセメントへの混合提案を受けた。→処分費用かさみ (@20,000) 断念
2	B	ファイトレメディエーション植物 (モエジマシダ) を用いた土壌のAs処理	<ul style="list-style-type: none"> 先方説明を受け、今年度、四日市工場土壌に適用可能か否かの試験を実施することとした。 現地適用試験として、7月中旬に試験箇所 (約40m²) でシダの植え付けを完了。 別途、フジタラボにて適用試験を行なう。(当方シダによる浄化サイト見学した。)
3	C	土壌地下水汚染浄化技術	<ul style="list-style-type: none"> バイオレメディエーション、地下水揚水処理装置の紹介を受けた。
4	D	バイオレメディエーション 土壌中細菌を用いたVOCs分解 化学酸化 酸化剤による地下水VOCs分解	<ul style="list-style-type: none"> 先方からは、高濃度VOCs汚染の場合、まず揚水曝気で濃度を下げてから、バイオまたは化学酸化処理が適当との見解があった。 現在、バイオ及び化学酸化法が、工場の汚染 (DCM、1,2DCEt) に適用可能か確認するためのトレータビリティ試験の提案を受けて、検討中。
5	E	重金属汚染水処理 鉱物を用いた地下水の重金属処理	<ul style="list-style-type: none"> 汚染水処理の材料及びシステムの説明を受けた。 今後 必要に応じ協力を求めることとしている。
6	F	バイオレメディエーション 土壌中細菌によるVOCs分解	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤(EDC)紹介。今後 必要に応じ協力を求めることとしている。 トレータビリティ試験の提案を受け、検討中。
7	G	反応壁工法 他浄化技術一般	<ul style="list-style-type: none"> 同社の持つ浄化技術の紹介を受けた。
8	H	反応壁工法 他浄化技術一般	<ul style="list-style-type: none"> 同社の持つ浄化技術の紹介を受けた。
9	I	リスク評価 原位置浄化、封じ込め等の対策の安全性評価、自然由来かの評価など	<ul style="list-style-type: none"> リスク評価に関する資料を受領した。 (産総研のシステムで評価を実施した旨説明。)